

空調設備の更新(E012)

【プロジェクト概要】

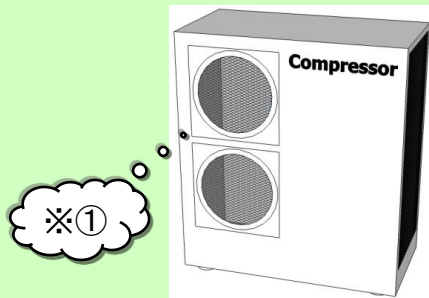
空調設備の更新により、空調設備稼働に伴うCO2排出量の削減を行う

【プロジェクトの適格性基準】

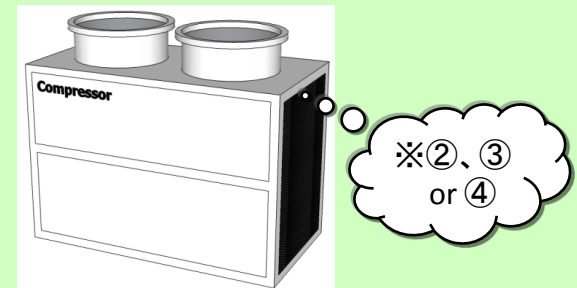
- 条件1. 空調設備の更新であること
- 条件2. 事業者は、空調設備で発生させた暖気または冷気を自家消費すること
- 条件3. 空調設備のエネルギー源はベースラインでは化石燃料または電力に限り、プロジェクトでは化石燃料、電力または木質バイオマス燃料に限る。
- 条件4. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと

排出削減量の算定で考慮する範囲

<既存の空調設備(例)>



<更新後の空調設備(例)>



※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目】

- ① 代替される空調設備のエネルギー消費効率(COP、APF、ボイラ効率等)
- ② 空調設備のエネルギー消費効率(COP、APF、ボイラ効率等)
- ③ 空調設備全体(2次搬送用のファン等を含む)の年間電力使用量
- ④ 空調設備によって消費される年間化石燃料消費量、年間木質バイオマス燃料消費量

※木質バイオマス燃料を使用する際は、方法論No.E001 または No.E002に基づき、その運搬・製造等の工程も排出削減量の算定で考慮する範囲とする必要がある。